

いきものの不思議を見つけてみよう！ 校庭のいきものの観察

2年生の生物の授業の第1回目で校庭の生き物観察を行った。課題研究がスタートするこの時期に、身近な自然には実は面白いことがたくさん潜んでいることを知ってもらいたかったのだ。そこで、『フィールド観察を研究にする方法』というタイトルで（だいたい見栄を張ったタイトルだが）授業を行ってみた。

1年生の時の探究の授業では、「学校の課題を発見するワークショップ」が行われていた。校内を巡って、不思議に思ったことや課題だと感じることを見つけるワークショップだ。これの「生き物バージョン」をやってみたくてずっと思っていた。

みんなで校庭に行き、いくつかこちらから見本を見せた後、自由に散策してそれぞれが発見した“生き物の不思議”とそれに対する“なぜそうなのか（仮説）”も考えて、1分で発表してもらった。初回の授業だったので私自身がみんなの顔と名前も一致していない状況だったし、みんなの興味が分かれば良いかなと、軽い気持ちで考えていた。だが、みんなの発表を聞いて鳥肌がたった！…めっちゃ面白い発見ばかりじゃないか！！しかも、それぞれがちゃんと自分なりの考えを1分にまとめて発表していた。それぞれが見つけた発見は、**たった20分くらいの観察で見つけたことだ**。たかが校庭でも、じっくり見てみるとそこには“不思議”が溢れていることを実感できた。いくつかの発表を紹介しよう。

- 例1 【発見】環境がほとんど同じなのに植物の育ち方が違う場所があった！
【仮説】触ってみたら土の湿り具合が違った。それに外来種ナガミヒナゲシの有無などが、育ち方の違いを生んだのではないかな？！
- 例2 【発見】アゲハチョウのからだ毛がモフモフの毛で覆われていた！
【仮説】花粉を運ぶのに役立っているのではないかな？！実際に花粉がついているのを確認した！
- 例3 【発見】ドクダミの葉はフチや裏だけ赤かった！
【仮説】虫を寄せ付けないために何か物質を作っている？ドクダミというぐらいだから毒を作っているのではないかな？！
- 例4 【発見】ハルジオンは茎の下の方にだけたくさん毛が生えていた！
【仮説】虫が登ってくるのを防いでいるのではないかな？！

どうだろう？1つの生き物の構造をじっくり観察した人もいれば、一步引いて全体を見比べた人もいる。他の生き物との関係に注目した人もいる。みんな着眼点が素晴らしい。彼らが見つけた発見はすでに答えが分かっているかもしれないし、ただの勘違いや見当違いの仮説を立てている場合もあるだろう（実際、ドクダミは無毒であることが分かっている）。でも、**ああでもない、こうでもない**と色々と思いを巡らせながら、自分なりの考えを出しているのを見て、まさにこれこそ研究の第一歩を踏んでいるなと感心した。

少なくとも、どの発見も注意深く観察しなければ見つからなかったものばかりだ。大切なのは、こういう視点を手に入れることだと思う。気付いていないだけで世の中は不思議で溢れている。とくに生き物は不思議だらけだ。どうでもいいと言ってしまうとそれで終わりだけど、“**不思議なことって面白い**”と思える価値観はぜひ持ってほしいななんて思っている。さあみんなも生き物の暮らしをテーマに自然観察を始めてみよう！



観察のコツは、あまり動き回らないでじっくり見る。ということで、みんなじっと植え込みを見ている。4月12日・13日



天気良かったので外でプレゼン。発見した“生き物の不思議”と“自分なりの考え”を1分間で発表してもらった。中には1分間で2テーマ話している人もいた。自分の興味を他の人にも“面白いと思ってもらう”ことはとても難しいが、みんなプレゼンが本当に上手だ。質疑応答も盛り上がった。

→第2分野（電子・情報工学系）のF先生にも参加してもらった。「花の形ってパラボアンテナに似てる。」という視点に、みんなが「なるほどー！」と驚いていた。色んな分野の人が集まると新しい視点が生まれて面白い。

